

蠟梅 Now

局地的な豪雨が頻発した今年の梅雨が多くの地域で明け、暑さが厳しさを増している。連日のように種々のメディアで熱中症に対する注意喚起がなされているが、高齢化社会の歪が溜まる環境下に在る人達には厳しさだけを募らせる現象でしかないのかもしれない。

7月初旬の九州北部豪雨では、大規模な土砂崩れや洪水で30人以上の犠牲者と大きな経済損失を出した。5年前の九州北部の記録的な雨量を上回り、数十年に1度あるかないかの豪雨が5年の間に2回もあったのは異常といえる。

日本付近の海面水温が平年より高かったため、その上を吹く風は海から熱エネルギーをたっぷり受け取り、雲が一層発達し易くなったのが一因という。それが何かの刺激でまとめて雨として落ちれば、豪雨を引き起こす。

また、海面水温の上昇は台風へのエネルギー供給を増やす。今世紀末にかけてより強い台風が日本に近づく可能性が高まるとの予測が出ている。すでに兆候が見られるといわれ、対策は待ったなしとも。

地球温暖化と異常気象へは謙虚に対峙していかなければならない。

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」二世は、11年11月の実生による誕生から6年目の夏を迎えた。懸案だった植え替えを実行して、心なしか成長にゆとりのようなものも窺える。

続く酷暑の中で、それを乗り切る体力を確保できたのだろうか、気になるところである。この時期、例年みられる様子だが、葉のあちこちが黄色くなって枯れ始めた。そのうち落葉して、枯れ枝のようになってしまい、毎度のことながら、はらはらしながら、新芽が吹くのを待つことになる。

ただ、例年より2~3か月早いような感じがしないでもないのが、気にかかる場所である。変化を注意深く見ていきたい



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>